

視察研修・研修会報告書

議席番号(6番) 議員名(加藤久人)

1 年 月 日	令和6年11月25日 (日数 0泊1日)
2 場 所	静岡県掛川市
3 視察・研修事項	指定管理制度について
4 面 接 者	総務部 資産経営課 係長 住本 啓 様
5 視察研修、研修会の成果 掛川市において、公の施設の運営にあたり、民間の活力を積極的に取り入れておられることを知り、今回視察させて頂いた。 ◎視察内容 25日13:00~14:30 住本係長より説明を受ける。 その後、2施設を視察し、16:30 視察研修を終える。 (掛川市の取組内容) 平成25年度より指定管理制度運用の見直しを図った。 「運営」から「経営」への発想の転換により、事業者のノウハウと創意工夫を活かせる環境を整え、利用者サービスの向上、市民満足度の向上、管理コストの削減を目指した。 具体的には、 ・市が事業内容の詳細を定め、施設の管理させる手法を見直し、業務要求水準を設定することで、民間が経営できる環境づくりを実施。(利用者数年間〇〇人以上等) ・可能な限り市の関与を減らし、設定条件を満たした民間の提案を積極的に受け入れ、民間の自主性を尊重。 (成功例) ・<u>掛川城天守閣・御殿、茶室、竹の丸の管理運営</u> 従前は公社への指定管理で運営されており、年間2,480万円の管理料が発生していた。 平成26年より民間事業者を指定管理者とし、「縛り」を少なくし自主事業を促進した。 例えば、エリア内で結婚式・集客イベント・朝市など、これまでにない取り組みを行うことにより集客力を高め、3年目には指定管理料がゼロに出来た。 ・<u>文化ホール3館(生涯学習センター、美感ホール、文化会館シオーネ)の管理運営</u> 従前は振興公社が管理運営していたが、平成30年より民間会社に指定管理を変更。 民間事業者のノウハウを活用し、効率かつ効果的な管理運営により、指定管理料が約1,000万円、管理運営費が約2,000万円削減できた。 自主事業に力を注ぎ、文化ホールなどにおいては、以前は比較的年齢層の高い方向けの事業だったのが、幅広い層をターゲットした事業に展開し、多世代に親しまれる施設となった。	

視察研修・研修会報告書

議席番号(6番) 議員名(加藤久人)

(その他)

道の駅や物産センターなどの収益が期待できる施設に関しては、普通財産に変更し、民間事業者に貸付し、自由な発想のもとで経営出来る環境に変更した。

温泉施設などは、民間の力を最大限に活かせる様民間譲渡を積極的に進めた。

又、令和3年度より公園施設の見直しに取り掛かっており、公園内に設置されていた温水プール・温浴施設の整備を実施している。

事業方式として、従来は設計・施工・管理運営は別々で発注するところを、すべてをグループ化し一括発注する方式で行っている。

そうする事により、運営目線に立った設計となり、民間ノウハウを活かしやすい仕組みとして取り組んでいる。

以上が説明を受けた主な内容であり、その後、その他で上げた温泉施設と改修中の公園を視察し、今回の視察研修を修了した。

(感想)

・「あれやっちゃダメ、これやっちゃダメ」 → 「ダメなこともあるけど、積極的に提案を受ける。満足向上につながる収益事業OK」
「文化施設だから、収益事業ダメ」

・「官主導のやり方は役割を果たした、終焉した」という認識を持ち、役所の発想を変え、制度を根本から見直し、改革する事。

上記が、掛川市のコンセプトであり、それに基づき成功を収めている。

下呂市の公の施設においては、合併当時からの施設が大半を占めており、従前から管理方法は余り変わりがないように思える。

今後はもっと民間の活力を導入し、健全なる経営を図り、公の施設を核として地域の活性化を目指すべきである。

掛川市の取組を参考にさせて頂き、今後の提言に繋げて行きたいと考える。